

事業 21	方針等 区分	(方針2)事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策4)経営資源確保のための環境整備		平成24年度				
	事業名	大学等研究機関への相談機会の拡充		予算額	産学交流センター指定管理料115,644千円の一部			
				決算額	産学交流センター指定管理料115,644千円の一部			
	事業概要	<p>市内のものづくり事業者の大学等研究機関に対する相談機会の拡充を図る。 静岡市ものづくり産業振興基本計画を策定するにあたり、市内中小事業者等へのヒアリングを実施したところ、次のようなコメントが多数聴かれた。</p> <p>■中小事業者の主なコメント 「商品開発への取組みに際して、大学等の研究機関に相談を掛けたいと思う機会が度々あるが、具体的にどこへどのように行けばよいのかわからない。」 「大学等の研究機関に相談できず、解決策に行き着かないまま終わってしまうことが多々ある。」</p> <p>そのため、中小事業者の多様なニーズを汲み取るとともに、大学等の研究機関などとの結び付きを図る中間支援機能が必要とされていることから、今回の基本計画の策定に際して事業化が図られた経緯がある。</p>		取 組 状 況	現 況 (9/1現在)	(今後の取組み) ◆中小事業者が抱えるニーズの把握 静岡商工会議所製造業部会のご協力を得ながら、中小事業者が抱える商品開発への課題などを含むニーズや技術的問題等に関して、恒常的な把握に努める。 ◆産学連携事業の拡充 ①産学交流センターにおいて、市内中小企業を対象とした市内大学産学連携コーディネーターによる講座を開催(11/16) ②本市における産学連携による産業支援を充実させる目的で、市内大学の産学連携推進機関のコーディネーターと産業支援機関との情報交換の場とする「静岡地区産学連携コーディネーター会議」を10月から開催予定している。		
						進 捗 率	9月1日 現在	(相談回数)0回 0(%)
							3月31日 現在	(相談回数)2回 33.3(%)
	成果目標	相談機会 6回/3年		事 業 評 価 等	事 業 結 果	<p>■地域産業課 ・今年度は、来年度からの実質的な取り組みを進めるための準備期間とした。 ・静岡商工会議所製造業部会を通じた中小事業者のニーズの汲み取りに向けて、同商工会議所中小企業相談所清水支所経営支援課(製造業部会事務局)等との打合せを実施予定(2~3月)。具体的には、「静岡大学イノベーション社会連携推進機構」を製造業部会に紹介し、実質的な活用促進に向けて説明する。これらは、静岡商工会議所だけでなく、静岡市清水商工会、蒲原商工会、由比町商工会にも周知を図ることができた。</p> <p>■産業政策課 (産学交流センター) ・11月16日、市内中小企業者等を対象とした産学連携特別セミナーを開催。出席者52名(企業等) ・1月22日 中小企業向け大学見学会(静岡県立大学)実施。 参加企業数5社 ・静岡地区産学連携コーディネーター会議 10月から1回開催</p>		
	総合計画 の 位置付け (分野別)	政策 方針	事 業 結 果					
		大 施 策						
		中 施 策						
産業振興 のプラン 位置付け	基本 方向	事 業 評 価 等	<p>(事務担当 記載項目)</p> <p>所属部会 からの 意見及び 指摘事項</p>	<p>・産学官連携事業において、事業者と大学が共振し、具体的な共同研究事業を見据えられることが大切であると感じる。 具体的には、大学側が得意とする内容を事業者に対して、一方的に講義を行うのではなく、事業者が望むようなテーマを大学側が感じ取り、そのテーマについて講演を行うといったことである。この点を踏まえて、今後の事業を進めてもらいたい。</p>				
	基本 方針							
	基本 施策							
所属部会	<p>■商品開発部会 部会員 ものづくり審議会委員3人 ■事務担当 工業支援担当</p>		事 業 評 価 等	事 業 結 果	<p>(事業担当 記載事項)</p> <p>改善点 ・ 目標の 未達成 理由等</p>	<p>■地域産業課 製造業部会及び同会事務局との連携強化を図りつつ、静岡大学イノベーション社会連携推進機構を介した具体的な取り組みを提起できる環境整備に向けて支援に努めていきます。</p> <p>■産業政策課 次年度も引き続き、産学連携を促進するセミナー等の実施や、企業向けの大学見学会を実施し、企業と大学とを結びつける機会を積極的に提供していきたい。</p>		
事業 担当課等	<p>経済局商工部 地域産業課 産業経営担当 産業政策課 新産業担当</p>							

事業 22	方針等 区分	(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5) 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成24年度				
	事業名	産学官交流事業の推進		予算額	産学交流センター指定管理料115,644千円及び清水産業・情報プラザ指定管理料83,491千円の一部			
				決算額	産学交流センター指定管理料115,644千円及び清水産業・情報プラザ指定管理料83,491千円の一部			
	事業概要	中小企業の新商品開発、新事業進出などを支援するため、産学交流センターや清水産業・情報プラザにおいて、情報提供や大学と企業との交流・連携事業を実施します。		取組 状況 (9/1現在)	(産学交流センター) ・9月1日現在、実績なし ・今後の予定 地域課題に係る産学共同研究委託事業における研究成果発表会の後、交流会を開催予定(平成25年3月) (清水産業・情報プラザ) ・産学官講演会・交流会 開催数 2回、受講者数99人 ・今後の予定 産学官講演会・交流会 開催数 5回			
					進捗率等	9月1日現在	(交流会開催数) 2回 9.5 (%)	
						3月31日現在	(交流会開催数) 7回 33.3 (%)	
	成果目標	交流会開催数 21回/3年 交流・連携に関する情報提供の実施		事業 評価	事業結果 (産学交流センター) 平成25年3月15日 地域課題に係る産学共同研究委託事業における研究成果発表会の後、交流会を開催。参加者数60名(3月31日現在) (清水産業・情報プラザ) ・産学官講演会・交流会 開催数 6回、受講者数354人			
	総合計画の 位置付け (分野別) IV産業・経済	政策方針						
		大施策						
		中施策						
産業振興 プラン 位置付け	基本方向	4 チャレンジ精神に富む人材・企業の 輩出、育成		次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	(産学交流センター) 成果発表会に少しでも多くの企業が参加し、産学連携の成果を実際に見聞きしてもらえよう、効果的な情報提供に努める。 (清水産業・情報プラザ) 引き続き、多くの方が参加されるよう、広報に努めていく。			
	基本方針	(2) 新事業展開や製品・技術・研究 開発 の支援						
	基本施策	①産学官、異分野交流・連携の推進						
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当		その他 (特記事項)					

事業 23	方針等 区分	(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5) 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成24年度		
	事業名	異業種交流事業の推進		予算額	128千円	
				決算額	128千円	
	事業概要	地域経済の活性化、新産業及び新事業の創出を促進する各種団体への助成等を行うことにより、異業種間の交流を行い、情報、技術等の交換により、相互交流事業の推進と経営意識の高揚、経営ノウハウの構築を推進します。		取組状況 現況 (9/1現在)	静岡商工会議所異業種企業交流会の会員を対象に講演会を開催 ・講演会開催数 4回、参加者数 140人 ・今後の予定 講演会 4回、視察 1回	
		補足事項	進捗率等			
	成果目標	異業種交流を推進する団体への助成		3月31日現在		
	総合計画の 位置付け (分野別) IV産業・経済	政策方針			事業結果	静岡商工会議所異業種企業交流会の会員を対象に講演会を開催 (講演会) 実施回数 8回 参加者数 286人 (視察) 実施回数 1回 参加者数 21人
		大施策				
		中施策				
	産業振興 プラン 位置付け	基本方向	4 チャレンジ精神に富む人材・企業の輩出、育成		事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等
基本方針		(2) 新事業展開や製品・技術・研究開発の支援				
基本施策		①産学官、異分野交流・連携の推進				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当		その他 (特記事項)			

事業 24	方針等 区分	(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5) 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成24年度			
	事業名	メーカーとクリエイターのマッチング・ブランド化の支援	予算額	6,600千円の一部			
			決算額	上記6,600千円の一部及び関東センターからの委託料約4,000千円			
	事業概要	海外を含む著名なクリエイターと地域企業、地元クリエイターと海外企業、あるいは地域のクリエイターと企業とのビジネスマッチングにより、高い付加価値を持った新商品の開発・ブランド化等を推進します。	取組状況 (9/1現在)	<ul style="list-style-type: none"> ・マッチングプロジェクト(C+プロジェクト)を実施 ・参加企業5社決定。現在、クリエイターを選定中。 			
				補足事項	進捗率等	9月1日現在 (新商品開発件数)	
				3月31日現在 (新商品開発件数) 6件	200	(%)	
	成果目標	マッチングによる新商品開発数 3件/3年					
	総合計画の 位置付け (分野別) IV産業・経済	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化		事業結果 <ul style="list-style-type: none"> ・マッチングプロジェクト(C+プロジェクト)を実施 ・参加企業6社に決定。開発した新商品を東京ギフトショーに出展。継続的にテストマーケティングを実施。 		
		大施策	(1) 地域の特性を活かした多彩な産業の集積促進				
		中施策	②創業と新事業展開の推進強化				
産業振興 プラン 位置付け	基本方向	3 次代を担う産業集積の構築		次年度に向けた改善点・ 目標の未達成理由等	今回は、国の外郭団体の関東センターより、委託を受けテストマーケティングを実施した。 次年度は、外からの資金を受け入れなければ、今年度と同様な新商品開発ができない。		
	基本方針	(1) 新産業クラスターの形成					
	基本施策	②コンテンツ産業の振興					
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当		その他 (特記事項)				

事業 25	方針等 区分	(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5) 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成24年度			
	事業名	農商工連携の推進		予算額	中小企業支援センター運営補助金33,660千円の一部 千円		
				決算額	中小企業支援センター運営補助金33,660千円の一部 千円		
	事業概要	第一次製品の生産拡大を包括したマーケティング支援事業を展開、専門家を活用し、地域資源を活用した既存商品を、さらに「売れる商品」に向上させるための事業を実施します。		取組 状況 (9/1現在)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業体の掘り起こし支援 中小企業支援センターにおいて、新連携事業、地域資源活用プログラム、農商工連携の国の事業認定申請につながる事業体の掘り起こし等の支援を実施中。 ・先進事例研究 中部地域6次産業化ネットワーク連絡会(事務局:静岡県中部農林事務所)が主催する「6次産業化・農商工連携の事例を学ぶ視察研修会」に出席(8月3日) ・今後の予定 産学交流センターを中心に、農商工連携に関する取り組みの方向性を探索 		
					補足事項	進捗率等	9月1日現在
				3月31日現在	事業体の掘り起こし 7者		
	成果目標	農商工連携による商品開発への支援		事業 評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・事業体の掘り起こし支援 中小企業支援センターにおいて、新連携事業、地域資源活用プログラム、農商工連携の国の事業認定申請につながる事業体を計7者掘り起こし、支援を実施した。 ・6次産業化・農商工連携に関する先進企業等の視察 6次産業化・農商工連携の事業スキームを作るため、6次産業化・農商工連携に取り組む企業等計3者に対し、事業展開の方法等のヒアリングを実施した。 ・今後の予定 農業政策課とともに、来年度の6次産業化・農商工連携の事業スキームについて協議する。 		
	総合計画の 位置付け (分野別) IV産業・経済	政策方針					
		大施策					
		中施策					
産業振興 プラン 位置付け	基本方向	2 生活の質を高める産業の振興	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等				
	基本方針	(1) マーケットを重視した事業展開の促進					
	基本施策	②生産・流通・消費の連携促進					
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当		その他 (特記事項)				

事業 26	方針等 区分	(方針3)連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5)多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成24年度				
	事業名	フーズ・サイエンスヒルズプロジェクトの推進		予算額	2,000千円			
				決算額	2,000千円			
	事業概要	<p>県のプロジェクトに参加、プロジェクトで得られた成果を普及し、地域産業界における事業化を促すとともに、産学官連携の一層の強化、次代を担う人材育成等を行います。</p>		取組状況 (9/1現在)	<p>・フーズ・サイエンスセミナーin静岡の実施 7月3日 参加者数 153人 ・技術相談会・マーケティング相談会の実施 7月24日 相談件数10件 ・食品等開発研究会の参加企業及びテーマの決定 市内企業数は6社 テーマは非常食、和・洋菓子、発酵食品、調味料の4種類</p> <p>・今後の予定 フーズ・サイエンスセミナー 2回実施(焼津市、藤枝市) 技術相談会・マーケティング相談会 2回実施(焼津市、藤枝市) 食品等開発研究会 新製品(試作品)の開発</p>			
					補足事項	進捗率等	9月1日現在	
	3月31日現在 セミナーの実施 3回 技術相談会・マーケティング相談会 3回 食品等開発研究会 新製品(試作品)の開発完了							
	成果目標	プロジェクトの推進		事業 評価	<p>事業結果</p> <p>・フーズ・サイエンスセミナーの実施 セミナー 開催回数3回 参加者数513人 (うち1回200人は予定参加者数)</p> <p>・技術相談会 開催回数3回 相談件数33件 ・マーケティング相談会 開催回数3回 相談件数15件</p> <p>・食品等開発研究会 11月に試作品の内覧会を実施し、また12月に商談会を実施した。 3月末までに新製品(試作品)の開発を完了予定。</p>			
	総合計画の 位置付け (分野別) IV産業・経済	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化					
		大施策	(3)地域産業を支える知的経営資源の活用強化					
		中施策	①研究開発力の強化					
産業振興 プラン 位置付け	基本方向	3 次代を担う産業集積の構築		次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	<p>セミナーは、フーズ・サイエンスヒルズプロジェクトにおける事業成果を含めて講演を行う予定。 技術相談会については、応募者数が比較的小さいことから、中止を含めて検討する。</p>			
	基本方針	(1)新産業クラスターの形成						
	基本施策	①健康・環境クラスターの形成推進						
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当		その他 (特記事項)					

事業 27	方針等 区分	(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5) 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成24年度		
	事業名	地域結集型研究開発プログラムの 推進		予算額	5,000千円	
				決算額	5,000千円	
	事業概要	地域産学官の連携のもと、世界市場を視野に入れた新世代茶飲料・素材の開発・事業化を目指します。		取組状況 現況 (9/1現在)	<p>独立行政法人科学技術振興機構の委託事業。(公財)静岡県産業振興財団が事務局を務める。静岡県・静岡市・大学・民間企業が連携し、大学等の基礎的研究から生まれた技術を結集し、科学的根拠に裏付けられた、健康によく、味・香りのよい新たな茶飲料の開発を行い、早期事業化を目指す。</p> <p>【研究テーマ】 「香味向上を目指した茶栽培・加工工程への光技術等の活用と実用化への研究」 「茶を原料とした飲料・素材の開発と実用化に関する研究」 「カテキン類の味覚・機能性等の評価と安全性に関する研究」</p> <p>【実施期間】 平成21年1月～平成25年12月</p>	
					補足事項	進捗率等
	3月31日現在	・セミナー実施 1回 ・研究開発継続実施中(平成25年12月まで)				
	成果目標	プログラムの推進		事業 評価	<p>事業結果</p> <p>・白葉茶、高香味発揚茶セミナーの実施(60名参加見込み) ・平成25年2月7日実施 参加者: 101名</p>	
	総合計画の 位置付け (分野別) IV産業・経済	政策方針	1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化			
		大施策	(3) 地域経済を支える知的経営資源の活用強化			
		中施策	①研究開発力の強化			
産業振興 プラン 位置付け	基本方向	3 次代を担う産業集積の構築	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p><改善点> ・本プログラムの研究成果により、白葉茶などの試作品が生まれつつあるが、さらに事業化に向けた販売戦略が必要。 ・研究成果及び事業化について、地元企業や農家への落とし込みがなされるよう、引き続き提言していく。</p>			
	基本方針	(1) 新産業クラスターの形成				
	基本施策	①健康・環境クラスターの形成推進				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当		その他 (特記事項)			

事業 28	方針等 区分	(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5) 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成24年度		
	事業名	駿河湾地域循環型社会の推進と 新事業の創出プロジェクトの推進		予算額	10,000千円	
				決算額	10,000千円	
	事業概要	「駿河湾地域新事業推進研究会」 が推進する、地域資源を活用した 産学官連携による新事業創出に向 けた活動に対し支援を実施します。		取 組 状 況 (9/1現在)	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度左記研究会総会において、名称を「駿河湾地域事業化プロ ジェクト」に変更。 平成24年度、同プロジェクトが取り組む研究活動計画 <ul style="list-style-type: none"> 三保地下水を利用した高付加価値魚介類養殖研究（東海大学） 野草等からの有効成分抽出と製品化への実証研究（静岡大学） 農商工連携による地域特産柑橘の高機能化生産プロセスの構築研究 （静岡大学） 植物の天然抽出物による事業化向け応用研究（静岡県立大学） <p>平成24年度事業化件数 1件（タツノオトシゴ（鑑賞用）の販売事業）</p>	
		補 足 事 項				進 捗 率 等
	3月31日 現在			（事業化件数）2件 66.7（%）		
	成果目標	事業化件数 3件／3年		事 業 評 価	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度左記研究会総会において、名称を「駿河湾地域事業化プロ ジェクト」に変更。 平成24年度、同プロジェクトが取り組んだ研究活動計画 <ul style="list-style-type: none"> 三保地下水を利用した高付加価値魚介類養殖研究（東海大学） 野草等からの有効成分抽出と製品化への実証研究（静岡大学） 農商工連携による地域特産柑橘の高機能化生産プロセスの構築研究 （静岡大学） 植物の天然抽出物による事業化向け応用研究（静岡県立大学） <p>平成24年度事業化件数 2件（タツノオトシゴ（鑑賞用）の販売事業、陸上養殖あわび試験 販売）</p>	
	総合計画 の 位置付け (分野別) IV産業 ・経済	政策 方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を旨とした産業 構造の知的高度化			事業 結 果
		大 施 策	(3) 地域産業を支える知的経営資源 の活用強化			
		中 施 策	①研究開発力の強化			
産業振興 プラン 位置付け	基本 方 向	3 次代を担う産業集積の構築	次 年 度 に 向 け た 改 善 点 ・ 目 標 の 未 達 成 理 由 等			
	基本 方 針	(1) 新産業クラスターの形成				
	基本 施 策	②環境関連産業の振興				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当		そ の 他 (特 記 事 項)			

事業	方針等区分	(方針3)連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5)多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成24年度			
	事業名	アーティストとのコラボレーション支援推進 (ニューウェーブしずおか創造事業)		予算額	5,010 千円		
				決算額	4,992 千円		
	事業概要	静岡の特色を活かした家具等の次代を担う新商品の開発を支援し、新規流通開拓を模索するため、意欲的企業による研究会の組織、デザイナー等とのコラボレーションによる新商品開発等に取り組みます。		取組状況 現況 (9/1現在)	<ul style="list-style-type: none"> ●プロデューサーの選定 ／プロデューサー1名を選定し、事業の詳細手法について協議した ●事業参加企業の募集と決定 ／地元業界に広く告知し参加社の募集活動を展開。地元企業及び工房等11者が参加を決定。参加者を集め研究会を組織した ●デザイナーの公募 ／事業参加デザイナーの公募活動を開始。インターネットを中心手法として全国的に広く募集活動を開始 		
					補足事項	進捗率	9月1日現在
	3月31日現在	(%)					
	成果目標	開発点数 平成24～25年度 20点 (平成26～27年度 20点)		事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ●プロデューサーの選定 ／プロデューサー1名を選定し、事業の詳細手法について協議した ●事業参加企業の募集と決定 ／地元業界に広く告知し参加社の募集活動を展開。地元企業及び工房等12社11組が参加を決定。参加者を集め研究会を組織した ●デザイナーの公募 ／事業参加デザイナーの公募活動を実施。インターネットを中心手法として全国的に広く募集し11組を選出した。 ●デザイン開発の進行 ／事業参加者とデザイナーがプロデューサー指導のもとデザイン開発の協議を行い、開発品を決定。デザイン開発を行った。 ●実施会合等 ／事業参加者事業説明会 2回 プレゼンテーション交流会 1回 視察バスツアー 1回 研究会 6回(うち全体会2回) 		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援		事業評価等	<ul style="list-style-type: none"> ■デザイナー活用について ／デザイナーの書いたものはきれいでかつこよいが、なかなか売れないとよく言われています。それはなぜかをまず突き止めてください ／従来、デザイナーとのコラボレーションを行うと、デザイナー中心のものとなり、作り手側は材料費・加工費だけという事が多い。そのため、なかなか前に踏み出す事が出来ない。 	
		大施策	(3)地域産業を支える知的経営資源の活用強化				
		中施策	②産学官・産業界・企業間の交流と連携の推進				
産業振興のプラン位置付け	基本方向	2 生活の質を高める産業の振興	所属部会からの意見及び指摘事項	<ul style="list-style-type: none"> ■改善点等 参加企業とデザイナーとのマッチングを図るため、デザイナー公募前に企業視察ツアーを実施し、参加希望デザイナーに企業の商品や技術を把握してもらうことで、開発の的確化を図った。 ■開発点数 2年継続事業であり、商品の試作開発は2年目となる。初年度はデザイン開発となるため開発点数は0となっている。 			
	基本方針	(1)マーケットを重視した事業展開の推進					
	基本施策	④地域・伝統産業の近代化推進					
所属部会	<ul style="list-style-type: none"> ■伝統工芸創造部会 部会員 ものづくり審議会委員5人 ■事務担当 地場産業担当 		改善点・目標の未達成理由等				
事業担当課等	<ul style="list-style-type: none"> ■経済局商工部 地域産業課 地場産業担当 						

事業 30	方針等 区分	(方針3)連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5)多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成24年度				
	事業名	新産業開発振興機構の活用に関する 検討		予算額	10,000 千円			
				決算額	10,000 千円			
	事業概要	<p>これまでの新産業開発振興機構の活動実績を踏まえつつ、今後の市内ものづくり事業者との新たな連携を含めた活用の検討を推進する。</p> <p>新産業開発振興機構は、会員企業の技術や販路等に関する経営資源のハイブリッド化を図り、時代のニーズに応じた「ものづくり」や「ビジネスモデル」の研究に取り組む本市の重要な地域資源の一つである。</p> <p>そのような機構の事業概要は、産学連携や産学官連携による新産業創出に向けた研究開発をはじめ、新産業レポートなどの情報発信、県内学術研究機関（静岡大学・静岡県立大学等）との交流事業、講習会等の研修事業などを幅広く展開している。</p> <p>このように市内の中小企業が多数参加する当該機構の連携を模索する中では、これまでにない業界との連携を視野に入れ、本市のものづくり産業における新たな展開の検討を進める必要性がある。具体的には、深刻な後継者不足等を抱えながらも、若手クラフトマンの育成などにも尽力する伝統工芸分野とのコラボレーションも、当該機構の新規展開事業として、その一つの選択肢に含まれるものとの期待から事業化が図られた経緯がある。</p>		取組状況 (9/1現在)	◆今後の取組み 事業概要を踏まえ、まずは事前に機構と協議し、新たな事業展開を模索するための素地を整え、最終的に機構として取り組む事業の一つに位置付けてもらう必要がある。その上で、以下に掲げる事項を順次取り組み、新しい静岡市のものづくり産業の展開に結び付けていくことが重要である。 ◇熱意ある事業者の参集 新産業開発振興機構や伝統工芸分野の双方が、本市のものづくり産業の振興に向けて新しい歩みを模索する機会を持つことが必要と考えられる。 ◇静岡市ならではの逸品づくりに向けた新しい枠組み すでに機構が有する多様な経営資源の活用を図る中、新しい枠組みでの静岡市ならではの逸品づくりについては、それぞれに相応の負担が伴うものの、機構、伝統工芸、参加事業者の前向きな参加に基づく枠組みが前提となる。			
					進捗率	9月1日 現在		
						3月31日 現在		
	成果目標	新産業開発振興機構の活用の推進		事業結果	<p>■地域産業課 ・今年度は、来年度からの実質的な取り組みを進めるための準備期間とした。 ・来年度における取り組みに向けて、新産業開発振興機構（事務局：静岡商工会議所産業経済部新産業課）及び本市の伝統工芸を取り扱う静岡特産工業協会等との打合せを実施する。（2～3月） ・来年度においては、前述の打合せ結果などを踏まえつつ、新産業開発振興機構及び静岡特産工業協会の反応を考慮しながら、当該機構の活用を前向きに検討していくものとする。</p> <p>■産業政策課 地域企業の産学連携・産学連携による新事業創出を目指す同機構に対し、財政的な支援をすることで、会員企業の新規開発テーマの情報提供として、テーマ探索研究会の開催（1月）、大学等のシーズ紹介を主な内容とした産学官交流会（4月・7月・9月）の開催等、会員企業に対し、新事業創出のきっかけを提供する事業が行われてきた。 今後同機構の支援を通じて、会員企業を中心とした地域における産学連携・産学連携を推進していきたい。</p>			
	総合計画 の 位置付け (分野別)	政策方針			事業 評価 等 (事務担当 記載項目) 所属部会 からの 意見及び 指摘事項	<p>■最終目標は新しい伝統工芸品を開発することだと思います。そのためには普段我々がつきあっているデザイナーにまず、開発振興機構を知ってもらう必要がある。その上で事業29を取り込み、3者合体で商品開発をしたらどうでしょう。</p>		
		大施策						
		中施策						
産業振興 のプラン 位置付け	基本方向		改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	<p>■地域産業課 新産業開発振興機構及び静岡特産工業協会との連携強化を図る。</p> <p>■産業政策課 引き続き、新しい事業の創出につながる機会の提供、会員企業等への効果的な支援等が行われるよう同機構に求めていく。</p>				
	基本方針							
	基本施策							
所属部会	<p>■伝統工芸創造部会 部会員 ものづくり審議会委員5人 ■事務担当 地場産業担当</p>							
事業 担当課等	<p>経済局商工部 地域産業課 産業経営担当 産業政策課 新産業担当</p>							